

『カラー図解 人体発生学講義ノート』 第2版

正誤表

(2024年2月現在)

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠に有難うございます。本書に以下の誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

株式会社 金芳堂

■ 1～3刷

該当頁	訂正箇所	誤	正
168頁	Point 下から 3～4行目	精巣から分泌されるテストステロンと 卵巣から分泌される抗ミュラー管ホル モン (AMH) の働きによって、生殖管 の性分化が起こる。	精巣のライディッヒ細胞から分泌され るテストステロンとセルトリ細胞から 分泌される抗ミュラー管ホルモン (AMH) の働きによって、生殖管の性 分化が起こる。

■ 1～4刷

該当頁	訂正箇所	誤	正
139頁	図 12.17 b	大動脈弓の変化を示す模式図。第1, 第2, 第5大動脈弓は消退する。左第 6大動脈弓の遠位部は消失するが、右 の遠位部は動脈管となる。	大動脈弓の変化を示す模式図。第1, 第2, 第5大動脈弓は消退する。右第 6大動脈弓の遠位部は消失するが、左 の遠位部は動脈管となる。

■ 1～6刷

該当頁	訂正箇所	誤	正
87頁	MEMO 8.3 高分子物質の 胎盤透過 下から1～2 行目	ホルモンのうち胎盤を通過するのは、 インスリン、サイロキシシン (甲状腺ホ ルモン) など少数である。	ホルモンのうち胎盤を通過するのは、 サイロキシシン (甲状腺ホルモン) など 少数である。
55頁	6週 上から 3行目	第2, 第3咽頭弓に耳介小丘 (耳介原 基) が現れる。	第1, 第2咽頭弓に耳介小丘 (耳介原 基) が現れる。
91頁	復習問題 5 選択肢④	④インスリンが通過する	④インスリンは通過しない